

# 緊急消防援助隊を被災地に派遣



消防司令鈴木隊長ほか5名の緊急消防援助隊

3月29日、東日本大震災による被災地支援のため、笠間市消防本部から6名が緊急消防援助隊として被災地福島県に向けて出発しました。

今回、緊急消防援助隊の拠点場所となった福島県消防学校には、滋賀県・岐阜県・静岡県・千葉県・神奈川県・群馬県・茨城県各県の消防職員約500人と救急車を含めた消防車両約170台が集結しました。

主な任務として、福島第1原発から20〜30キロメートル圏内における救急支援活動、



消防庁長官による激励視察の様子

緊急出動および救急搬送の経路確保と通信状態の調査を行いました。

## 緊急消防援助隊とは

平成7年1月の阪神淡路大震災において全国41都道府県から約30,000人の消防応援が実施されましたが、当時は、応援部隊の初動・編成・活動等に関するマニュアルが整備されておらず、主に指揮系統や運用面で多くの課題を残しました。

これを契機に平成7年7月、全国の消防機関による消防応援を迅速・円滑に実施するために緊急消防援助隊が発足し、平成15年6月消防組織法上、正式に位置づけられたものです。



笠間市消防本部派遣隊の事務引継の様子